令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北中島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	淀川区
学　校　名	大阪市立北中島小学校
学 校 長 名	坂　幸之介

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立北中島小学校では、第６学年　57名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北中島小学校の結果概要

教科に関する調査では、国語は1ポイント、算数は4ポイント全国平均を上回っている。また、平均無回答率については、大阪市・全国平均ともに、大きく下回っている。これは、たとえわからない問題があっても、容易にあきらめるのではなく、自分なりに考え、問題解決に向けて粘り強く考える力を育んできた成果と考えれられる。

児童質問紙では、「自分には、よいところがあるとおもいますか」という問いに対して、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の肯定的な回答が全体の90%と全国平均を上回っている。また、「人が困っている時は、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という問いには、両方とも全国平均を大きく上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語科の平均正答率は、大阪市・全国を上回った。学力向上支援チーム事業の教員一人一授業(全員実施)や、学校図書館支援員による読書推進活動、読書タイムの設定、漢字検定の参加などさまざまな取組とその積み重ねの結果であると言える。一方で、内容別に見てみると「(2)情報の扱い方に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」において、全国の平均を下回る結果となった。今年度の研究として、力点を置いている話し合い活動をさらに充実させ、課題の克服を図りたい。

【算数】

算数科においても、すべての領域において大阪市・全国の平均正答率を上回った。学習内容の定着が着実に図られていることが成果として挙げられる。日々の授業において、児童の基礎学力の習得・定着を大切に取り組む学習を積み重ねてきたことが学力向上という結果に繋がったと考えられる。

質問調査より

児童の自己肯定感を表す「自分には、よいところがあると思いますか」との問いでは、肯定的回答が全国平均を大きく上回っている。本校の課題であった自己肯定感の低さに対するこれまでの取組の成果が表れている。また、質問調査の「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「学校にいくのは、楽しいとおもいますか」「友達関係に満足していますか」においても、全国平均を上回っていることから、日々教員が子どもたちに真摯に向き合い、大切に育んでいることがわかる。そして今年度は、自己有用感をあらわす「人の役にたつ人間になりたいですか」においても、大阪市・全国平均を上回る結果となった。今後も引き続き、児童の自己肯定感や自己有用感が高まる取組を推進するとともに、子どもたちとの日常の時間を大切にしていきたい。

今後の取組（アクションプラン）

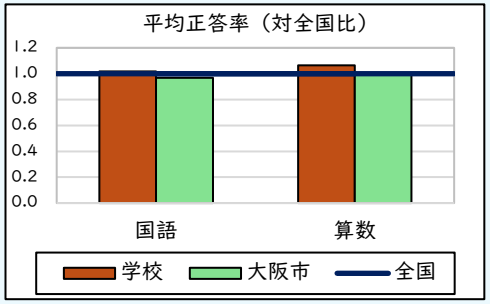
本校の研究教科である学級活動を中心に、どの教科においても、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践に取り組む。そのために、前述した、成果と課題を踏まえ、個別最適な学びによる一人ひとりの学力形成と話合い活動による協働的な学びを実践していく。

自己肯定感や自己有用感のさらなる向上を図るために、引き続き教職員が子どもの頑張りを認め、しっかり褒めていく。また、今年度は、地域と連携した取組として、防災さんぽやボランティア活動など多様な経験の場を設定している。地域の一員としての自覚と地域への感謝の気持ちを育みつつ、自己肯定感、自己有用感の醸成を図る。さらには、全学年において本校自主教材「きこうよはなし」に取り組み、他者意識をもち、相手のことを思いやり行動にうつすことができる児童を育成していく。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

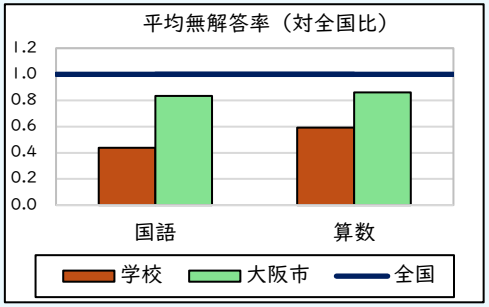
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	62	60
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



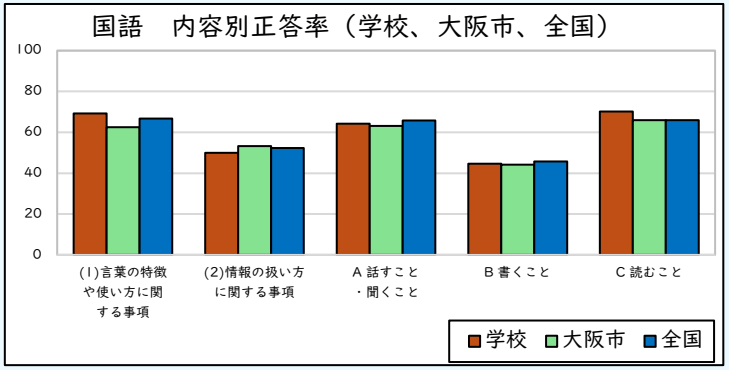
平均無解答率（%）

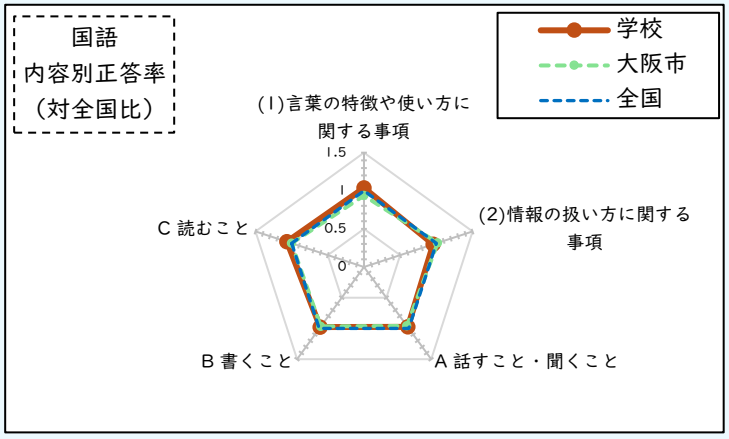
	国語	算数
学校	1.5	1.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

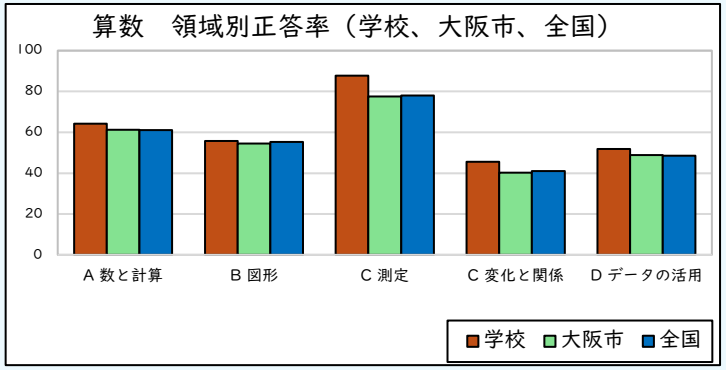
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	69.3	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	50.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	64.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	44.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	70.2	66.0	65.9

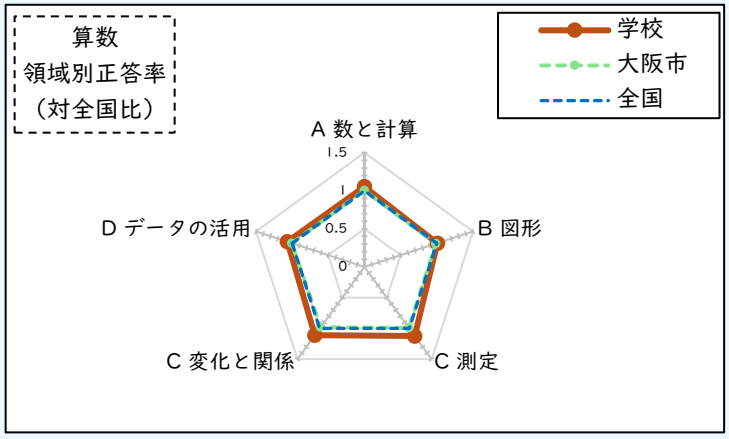




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.3	61.2	61.1
B 図形	4	55.7	54.5	55.3
C 測定	1	87.7	77.5	78.1
C 変化と関係	3	45.6	40.3	41.1
D データの活用	4	51.8	48.8	48.6

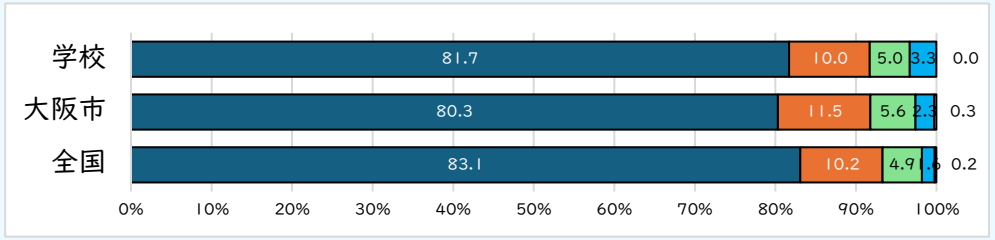


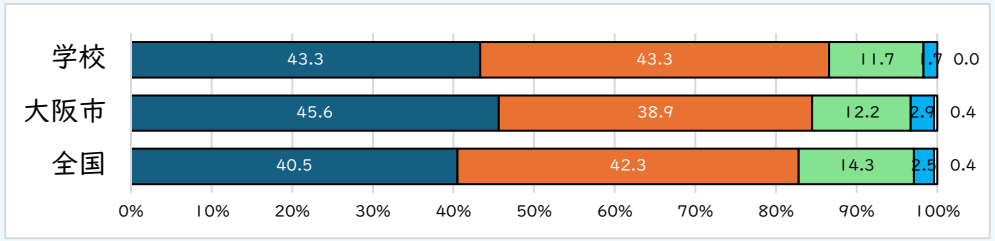


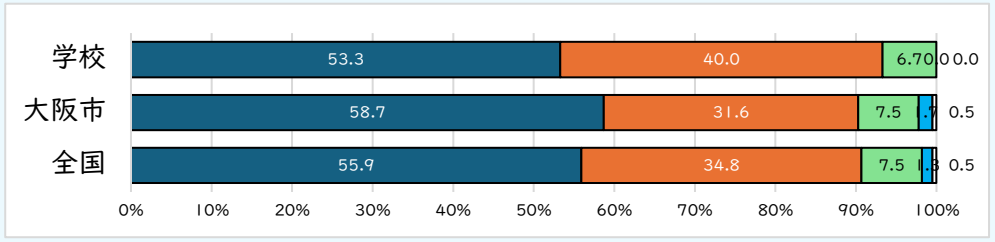
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

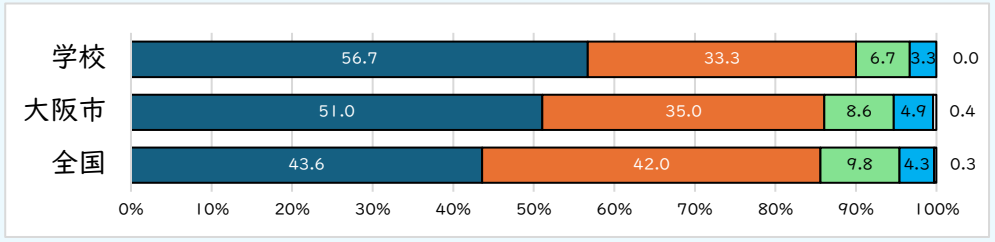
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

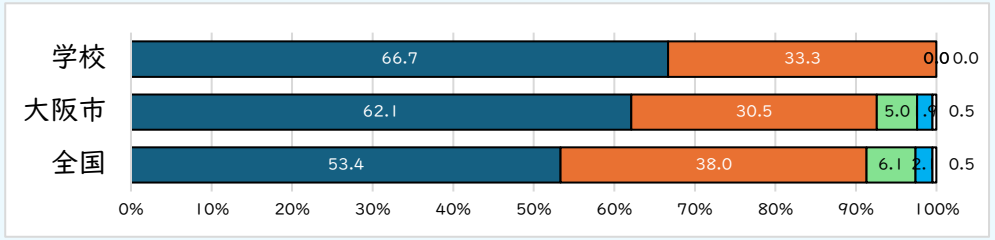
質問番号	質問事項
（１）	朝食を毎日食べていますか
（２）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
（３）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
（８）	自分には、よいところがあると思いますか
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか











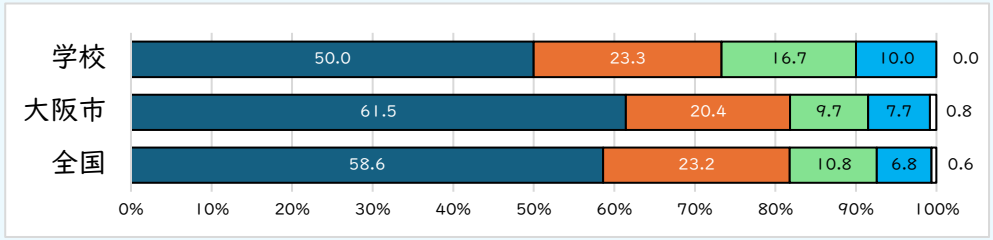
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

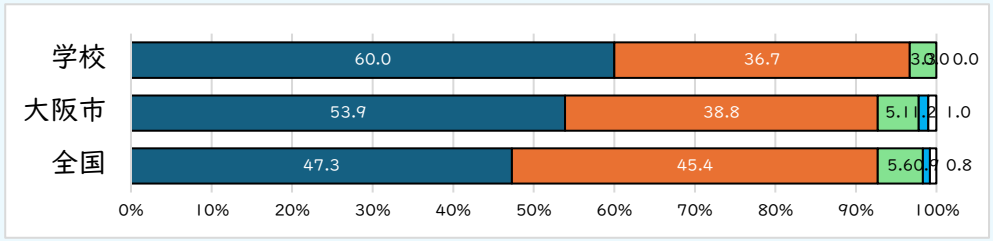
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

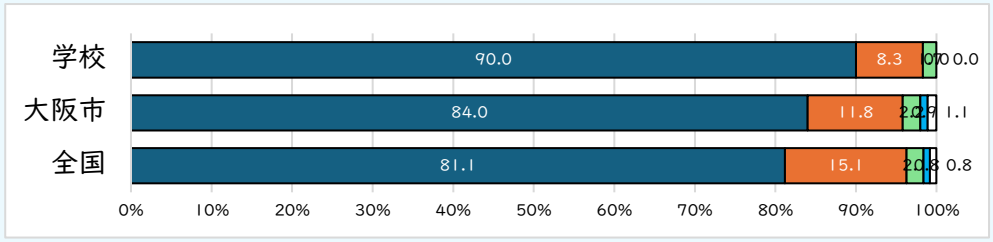
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

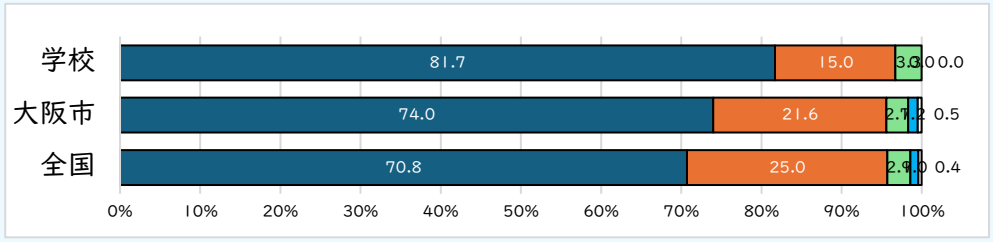
質問番号	質問事項
（１０）	将来の夢や目標を持っていますか
（１１）	人が困っているときは、進んで助けていますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（１４）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
（１５）	学校に行くのは楽しいと思いますか

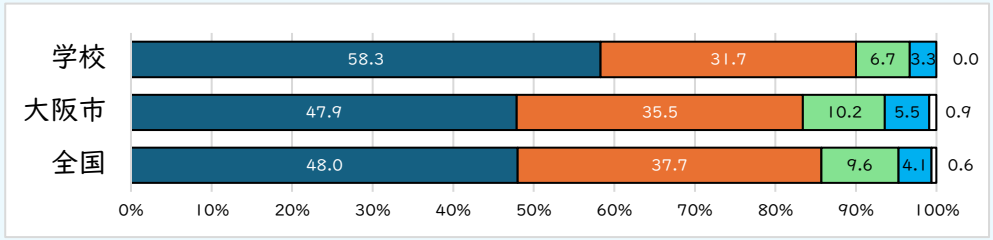
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。









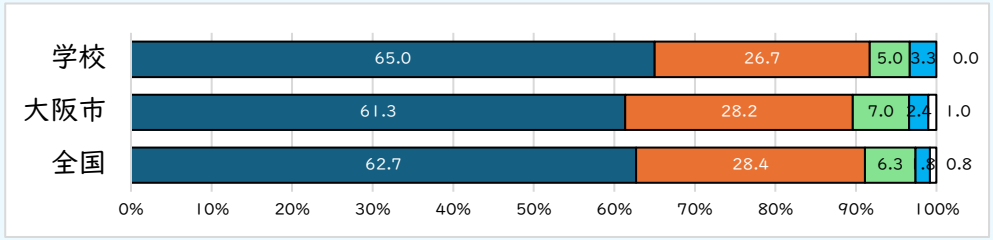


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

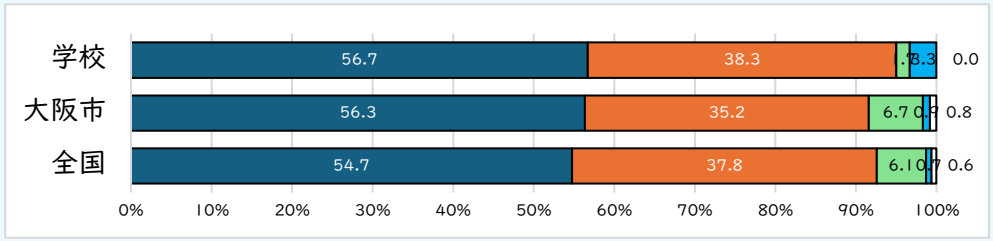
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（３）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

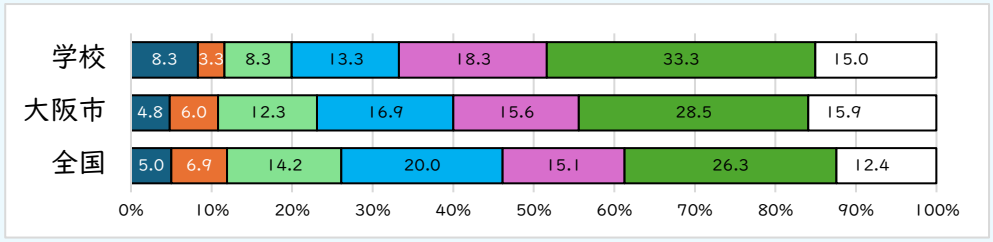
質問番号	質問事項
（１７）	友達関係に満足していますか
（２１）	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（４５）	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



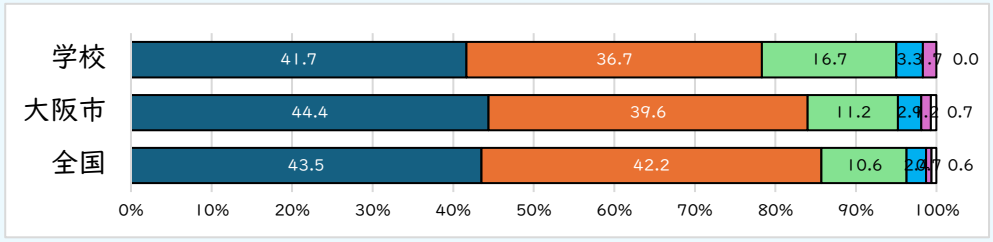
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



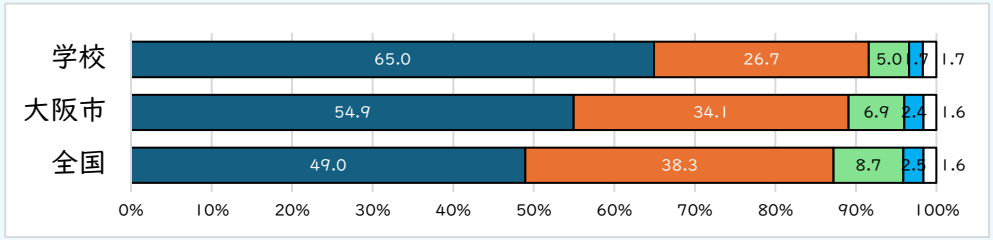
1 よくある
2 ときどきある
3 あまりない
4 全くない



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



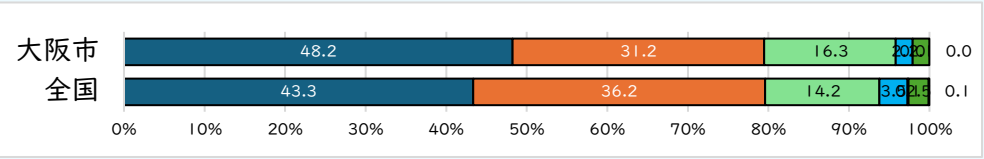
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

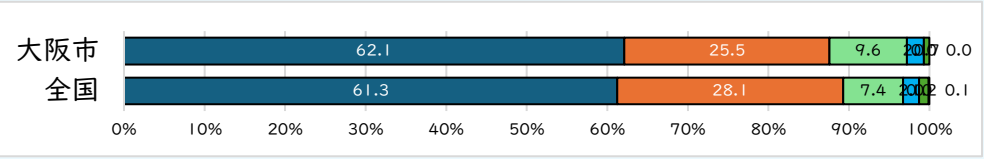
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（14）	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか
（15）	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか
（16）	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか
（21）	教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか
（26）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

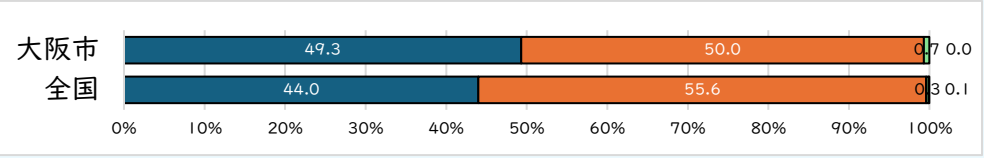
【学校の回答】　2　月に数回程度行った



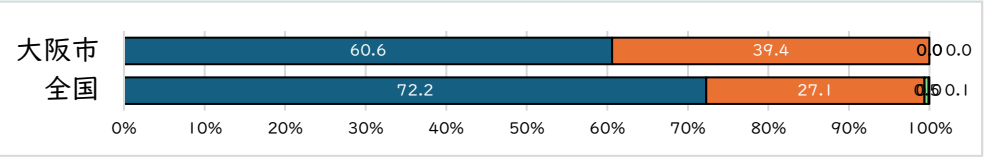
【学校の回答】　1　週に１回程度、または、それ以上行った



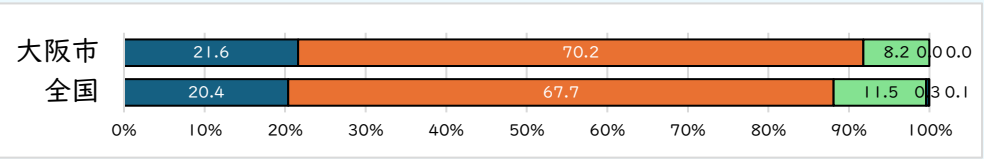
【学校の回答】　1　十分に取り入れている



【学校の回答】　1　そう思う



【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

（14）
1 週に１回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

（15）
1 週に１回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

（16）
1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

（21）
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（26）
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない